

民主主義とは何か～取材の現場から～



講師：望月 衣塑子 氏

(東京新聞 社会部記者)

自民党が政権に復帰した2012年以降、安倍・菅官邸は新聞やテレビ、ネットメディアの幹部やベテラン記者たちとの会食を繰り返し、官邸への取り込みを進めた。安倍首相の最側近、萩生田光一議員が2014年11月、選挙報道について「公平公正中立な報道を」と報道各社に文書で要望した「萩生田文書」以降、メディアの委縮・自粛・忖度が加速した。

桜を見る会では、数々の疑惑の目が安倍首相に向けられる中、与党は、2019年12月9日、国会閉会を決め、首相は日本記者クラブの求める会見にも応じていない。知る権利が阻害され、民主主義が脅かされる現在、市民や記者たちは何を武器にして、どう闘っていいのか。安倍政権下で解禁された武器輸出や、進められた米国製兵器の大量購入、沖縄本島や南西諸島で進むミサイル防衛の状況などを踏まえつつ、一緒に考えていきたいと思う。

【プロフィール】望月 衣塑子(もちづき いそこ)

1975年、東京都生まれ。東京新聞社会部記者。慶應義塾大学法学部卒業後、東京・中日新聞に入社。千葉、神奈川、埼玉の各県警、東京地検特捜部などで事件を中心に取材する。2004年、日本歯科医師連盟のヤミ献金疑惑の一連の事実をスクープし、自民党と医療業界の利権構造を暴く。17年4月以降は、森友学園・加計学園問題の取材チームの一員となり、取材をしながら官房長官会見で質問し続けている。著書に『武器輸出と日本企業』(角川新書)、『武器輸出大国ニッポンでいいのか』(共著、あけび書房)、「THE 独裁者」(KK ベストセラーズ)、「追及力」(光文社)、「権力と新聞の大問題」(集英社)。2017年に、平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞を受賞。2019年度、「税を追う」取材チームでJCJ大賞受賞。二児の母。

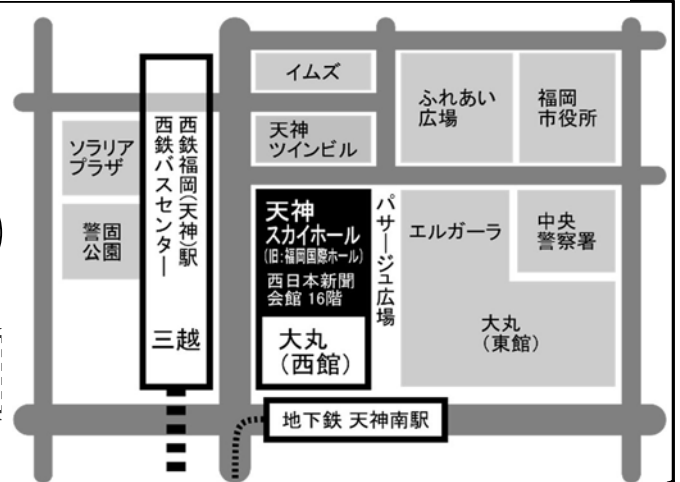
2020年2月22日(土)

17時～18時30分

天神スカイホール(旧:福岡国際ホール)
【西日本新聞会館16階】

福岡市中央区天神1-4-1

TEL092-712-8855(天神地下街東-9番出口)

参加費 **無料**

お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

福岡県保険医協会 福岡市博多区博多駅南1-2-3 博多駅前第一ビル8F 092-451-9025

講演会のお申し込みは、以下の申込書にご記入の上、FAXにてご返信ください。

ご氏名

TEL

参加人数 名

↓
申込先 FAX 092-451-6642
↓